短期予報解説資料　２０２５年８月１３日１５時４０分発表

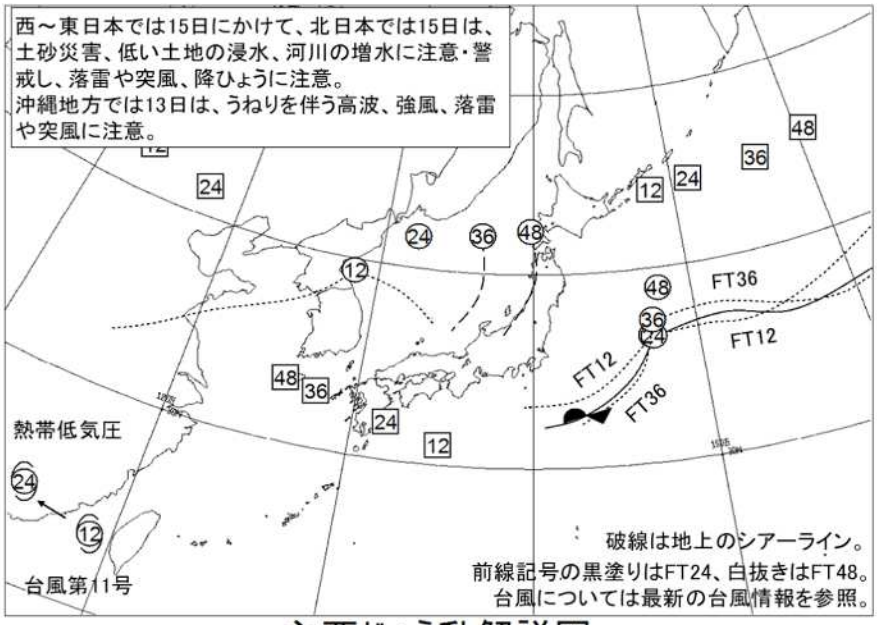
気象庁

１．実況上の着目点

① 強い台風第11号が台湾付近を西北西進。先島諸島では、強い風が吹き、うねりを伴いしけとなっている所がある。海上では強い雨を解析。

② 500hPa 5940m以上の上空の高気圧に対応して地上の高気圧が日本の南を西へ移動。また、500hPa 5880～5760mのリッジに対応して、高気圧が日本海を東へ移動し、別の高気圧がオホーツク海を南東へ移動。

③ 前線が黄海～西日本～伊豆諸島～日本の東に停滞。前線上の黄海には低気圧があって東北東進。前線に向かう下層暖湿気や、日中の気温上昇の影響で山地を中心に大気の状態が不安定となっている。西～東日本で激しい雨や非常に激しい雨を解析。雷を検知。



主要じょう乱解説図

２．主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①の台風第11号は、先島諸島から次第に遠ざかるが、台風の影響で強い風が吹き、うねりを伴いしけとなる所がある。また、台風周辺の下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となる所がある。沖縄地方では13日は、うねりを伴った高波、強風、落雷や突風に注意。

② 1項②の日本の南の高気圧は、14日夜には東シナ海へ、15日は黄海付近に移動する。日本海の高気圧は13日夜までに千島近海へ進む高気圧と一体となり、14日～15日は千島の東へ移動する。これらの高気圧に覆われて晴れて気温が上昇し、西～東日本を中心に猛暑日となる所がある。15日にかけて、熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。また、気温の上昇によって午後は大気の状態が不安定となり、激しい雨が降り大雨となる所がある。これまでの雨で地盤の緩んでいる所では、少しの雨でも土砂災害の危険度が高まる可能性があることに留意。西～東日本では15日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意。

③ 1項③の前線は13日は、2項②の高気圧の影響で本州付近では次第に不明瞭化。1項③の低気圧は、14日にかけて日本海を東北東進し、15日は日本海から北海道付近を通ってオホーツク海へ進む。また、低気圧からのびるシアーラインが、15日は北～東日本を通過する。低気圧やシアーラインへ流れ込む下層暖湿気の影響で大気の状態が不安定となり、雷を伴い激しい雨の降る所がある。北～東日本では15日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水、落雷や突風、降ひょうに注意。

３．数値予報資料解釈上の留意点　総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

４．防災関連事項［量的予報等］① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 波浪(明日まで)：沖縄5m。

③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。西～東日本では、注意報基準を超過する所がある。

５．全般気象情報発表の有無　「台風第11号に関する情報（終了情報）」を17時頃に発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。